

道営工業用水道

苫小牧地区工業用水道第二期改修事業



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

平成31年3月
北海道企業局



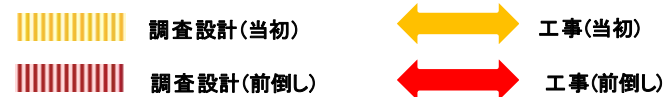
事業概要

- ・苦小牧工水では、平成18年度から23年度にかけて、漏水が頻発するなど緊急性が高いと判断した区間の配水管改修を実施
- ・未改修区間には、依然として耐震性がなく、耐用年数を経過したPC管を使用している区間が存在し、過去に漏水事故が発生
- ・特に、平成15年に発生した十勝沖地震の際には、複数の箇所でも漏水事故が発生し、復旧の際には、最大2.5日間程度の給水停止が必要となり、給水に大きな影響を与えたため、平成32年度から更新及び耐震化を目的とする配水管改修工事の着手を計画していたところ
- ・平成30年胆振東部地震の際に漏水事故が発生したことを踏まえ、工事着手の前倒し(平成31年度～)を予定

事業計画

- ・対象施設： 第二施設配水管(幹線)
PC管(プレストレストコンクリート管)
昭和54年取得(40年経過 法定耐用年数38年)
- ・総事業費： 約47億円
(平成31年度事業費に対し、国庫補助(平成30年度補正予算)を要望)
- ・事業期間： 平成29年度～平成37年度

	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
基本設計	(柏原・勇払) 									
第二施設幹線(柏原地区) φ1100 L=約5.7km		実施設計 								
第二施設幹線(勇払地区) φ1100 L=約1.9km						実施設計 				



今後の事業内容（予定）

苫小牧地区工業用水道第二期改修事業 計画図

【第一施設 浄水場】

【第二施設 浄水場】

【工事区間】
φ1100 L=約1.0km

【改修区間】
第二施設幹線(勇払地区)
L=約1.9km (H36~37)

【改修区間】
第二施設幹線(柏原地区)
L=約5.7km (H31~35)

苫小牧地区工業用水道	
水源	【第一施設】表流水(二級河川 安平川水系勇払川) 【第二施設】表流水(二級河川 安平川水系安平川)
計画給水量	200,000m ³ /日
給水区域	苫小牧市、勇払郡厚真町、勇払郡安平町(早来大町、早来栄町、早来北町、安平、遠浅、早来瑞穂、早来緑丘、早来守田、東早来、早来北進、早来新栄、早来源武及び早来富岡の区域に限る。)

